



## 2025年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ビーグリー 上場取引所 東  
コード番号 3981 URL <https://www.beaglee.com>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 仁平  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 三吉 達治 (TEL) 03-6706-4000  
定時株主総会開催予定日 2026年3月27日 配当支払開始予定日 2026年3月30日  
有価証券報告書提出予定日 2026年3月27日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年12月期の連結業績(2025年1月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

		売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期		16,720	△9.4	2,346	△15.7	1,368	△23.4	1,319	△23.5	683	△47.6
2024年12月期		18,446	△3.3	2,783	10.6	1,786	19.4	1,726	19.8	1,303	89.1

(注) 包括利益 2025年12月期 683百万円(△47.6%) 2024年12月期 1,303百万円(89.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年12月期	122.37	122.08	8.8	7.8	8.2
2024年12月期	220.02	219.21	18.1	9.7	9.7

(参考) 持分法投資損益 2025年12月期 ー百万円 2024年12月期 ー百万円

(注) 調整後EBITDA=営業利益+減価償却費(出版権の償却費を含む)+のれん償却費+敷金償却費+株式報酬費用±その他の調整項目

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期	16,556	8,063	48.6	1,440.53
2024年12月期	17,294	7,486	43.3	1,343.75

(参考) 自己資本 2025年12月期 8,050百万円 2024年12月期 7,481百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年12月期	1,539	△222	△1,141	5,293
2024年12月期	2,341	△245	△1,803	5,118

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年12月期	—	0.00	—	23.00	23.00	128	10.5	1.8
2025年12月期	—	0.00	—	42.00	42.00	234	34.3	3.0
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00		34.9	

### 3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通 期	17,091	2.2	2,441	4.1	1,491	9.0	1,443	9.4	721	129.05

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2025年12月期	6,301,986株	2024年12月期	6,283,986株
2025年12月期	713,699株	2024年12月期	716,353株
2025年12月期	5,586,817株	2024年12月期	5,924,701株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2026年2月16日(月)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計上の見積りの変更) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において判断したものであります。

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における日本経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等を背景に、景気は緩やかな回復が続きました。一方で、物価上昇の継続による個人消費の下振れリスクの高まりや米国の通商政策の動向、地政学リスクの上昇、不安定な円相場による影響等、依然として不透明な事業環境が続いております。

当社を取り巻く事業環境は、紙の出版市場が縮小している一方で、電子出版市場は継続的に拡大しており、インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2025」によると、2025年度の成長率は4%程度になると予測されており、今後も電子書籍及び電子コミックの市場規模は緩やかな拡大が続くことが予想されております。

このような市場環境の中で、プラットフォームセグメントにおいては、コミック配信サービス「まんが王国」のブランド構築に注力しつつ効率的な投資を、コンテンツセグメントにおいては、継続的なデジタル成長による安定的な利益創出を実行いたしました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は16,720,153千円（前年同期比9.4%減）、調整後EBITDAは2,346,185千円（前年同期比15.7%減）、営業利益は1,368,394千円（前年同期比23.4%減）、経常利益は1,319,589千円（前年同期比23.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は683,683千円（前年同期比47.6%減）となりました。なお、当社グループは、株主資本当期純利益率（ROE）を重要な経営指標と位置づけております。当連結会計年度末の株主資本当期純利益率（ROE）は8.8%（前年同期18.1%）となり、前連結会計年度末と比較して9.3ポイントの減少となりました。これは、前連結会計年度において、当社の連結子会社であった株式会社ぶんか社グループの吸収合併の実施に伴い、同社より税務上の繰越欠損金を承継し、法人税等が減少したことによります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (プラットフォームセグメント)

プラットフォームセグメントの主力サービスであるコミック配信サービス「まんが王国」においては、ユーザーの訪問・定着・課金の流れを促し、課金者数と顧客単価を上げるべく、「お徳感No.1」戦略による課金意欲の高いロイヤルカスタマーへの育成を継続するとともに、「まんが王国」内にて、一定時間経過するごとに1話が無料で読めるサービス「待ちコミ」の提供を開始し、幅広いユーザー層獲得のための販売促進活動を積極的に行いました。

一方で、ライトユーザーの獲得・定着を図るため、前期よりライトユーザーを中心とした広告運用を行い、新規ユーザーの獲得が進んだ反面、当初の想定よりヘビーユーザーが減少した結果、「まんが王国」の売上高は前年同期比10.6%減となりました。

また、2025年3月には当社オリジナル作品「夜蜘蛛は蜜をすう〜結婚詐欺師と堕ちる女〜」を原作としたショートドラマが、ショートドラマアプリ「BUMP」にて配信されました。

このほか、オンライン動画配信サービス「Hulu」を運営するHJホールディングス株式会社と提携し、2025年10月より「Hulu」にて電子コミックの提供を開始いたしました。

利益面においては、広告宣伝費を中心とした営業費用が前年同期比で減少いたしましたが、売上高の減少に伴い、売上総利益についても前年同期比で減少いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は10,626,829千円（前年同期比9.9%減）、営業利益は432,385千円（前年同期比31.7%減）となりました。

## (コンテンツセグメント)

コンテンツセグメントにおいては、デジタルコンテンツを中心に、発刊点数の増加、電子書店ごとの特性や読者ニーズに沿った販売促進活動を積極的に行いました。また、紙出版においては、紙出版市場の縮小を鑑み、配本部数の管理及び価格設定等のコストコントロールを実施いたしました。

デジタル出版においては、新刊のヒットによる売上の押し上げ効果が限定的となったものの、読者の嗜好性に合わせたコンテンツの創出とジャンルの拡大の着実な推進により、売上高は前年同期比0.5%増となりました。

紙出版においては、配本部数のコントロール等を実施した結果、売上高は前年同期比25.0%減となりました。

このほか、2025年4月にはぶんか社から2作品がテレビドラマ化し、「黒弁護士痴情 世界でいちばん重い純愛」がTOKYO MXにて放送、「子宮恋愛」が読売テレビにて放送されました。また、2025年10月には「じゃあ、あんたが作ってみろよ」がTBS系列にて、「娘の命を奪ったヤツを殺すのは罪ですか?」が関西テレビ放送にて、「橘くん 抱いてください! ハジメテの相手は同僚王子!」がTOKYO MXにて、それぞれ放送されました。

利益面においては、原稿料をはじめとした原価が増加したことにより、デジタル出版収益が前年同期比で減少し、紙出版収益においても、紙出版売上の減少により、前年同期比で減少いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は6,378,320千円(前年同期比6.5%減)、営業利益は935,817千円(前年同期比18.9%減)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における資産合計は16,556,762千円となり、前連結会計年度末に比べ737,817千円減少しました。

流動資産は8,623,798千円となり、前連結会計年度末に比べ43,893千円増加しました。これは主に、売掛金が126,162千円減少した一方で、現金及び預金が175,271千円増加したことによるものです。

固定資産は7,932,963千円となり、前連結会計年度末に比べ781,711千円減少しました。これは、有形固定資産が68,402千円増加した一方で、無形固定資産が753,969千円、投資その他の資産が96,144千円減少したことによるものです。

## (負債)

当連結会計年度末における負債合計は8,493,039千円となり、前連結会計年度末に比べ1,315,004千円減少しました。

流動負債は7,728,039千円となり、前連結会計年度末に比べ295,004千円減少しました。これは主に、未払金が49,496千円増加した一方で、支払手形及び買掛金が138,977千円、未払消費税等が107,964千円、返金負債が108,661千円減少したことによるものです。

固定負債は765,000千円となり、前連結会計年度末に比べ1,020,000千円減少しました。これは、長期借入金が1,020,000千円減少したことによるものです。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は8,063,722千円となり、前連結会計年度末に比べ577,187千円増加しました。これは主に、利益剰余金が555,627千円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、48.6%となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は5,293,996千円となり、前連結会計年度末に比べ175,271千円増加しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動においては、税金等調整前当期純利益1,285,949千円から、主な加算項目として、減価償却費358,726千円、のれん償却額590,649千円、売上債権の減少額137,874千円等がありました。これに対して主な減算項目として、仕入債務の減少額138,977千円、返金負債の減少額108,661千円、未払又は未収消費税等の増減額112,736千円、利息の支払額59,321千円、法人税等の支払額542,576千円等がありました。

この結果、獲得した資金は1,539,397千円（前年同期は2,341,510千円の獲得）となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動においては、主な資金増加要因として、敷金及び保証金の返還による収入49,925千円等がありました。これに対して資金減少要因として、有形固定資産の取得による支出102,646千円、無形固定資産の取得による支出169,585千円がありました。

この結果、使用した資金は222,198千円（前年同期は245,001千円の使用）となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動においては、主な資金減少要因として、長期借入金の返済による支出1,020,000千円、配当金の支払額128,052千円等がありました。

この結果、使用した資金は1,141,927千円（前年同期は1,803,281千円の使用）となりました。

### (4) 今後の見通し

2026年12月期につきましては、引き続き、持続的な成長を可能とする事業基盤の再構築とコンテンツ創出力の強化に注力してまいります。

プラットフォームセグメントについては、「まんが王国」において、「お得感No.1」戦略による課金意欲の高いロイヤルカスタマーへの育成を継続するとともに、効率的な広告運用を徹底することで、売上の維持と収益の拡大に努めてまいります。また、オリジナル作品の連載のほか、新規許諾及び先行配信タイトルの獲得を推進し、“ここから読める”作品を拡充することで差別化を図ってまいります。このほか、HJホールディングス株式会社との取り組みである、オンライン動画配信サービス「Hulu」での電子コミックの提供に伴う売上高の増加により、プラットフォームセグメントは増収増益となる見込みです。

コンテンツセグメントについては、引き続き、読者の嗜好の変化や配信媒体の特性をいち早く捉えたコンテンツの制作体制を整備し、主力ジャンルである女性向けコンテンツに加え、より幅広い読者を対象としたジャンルの作品を拡大することで、デジタル売上の更なる成長に努めてまいります。紙出版売上においては、配本部数の管理及び価格設定等のコストコントロールの徹底を継続するとともに、ジャンルの特性に合った効果的なセールスプロモーションの推進により、収益性の向上を図ってまいります。これにより、コンテンツセグメントは増収増益となる見込みです。

以上を踏まえ、2026年12月期の通期業績見通しについては、売上高は17,091百万円（前年同期比2.2%増）、調整後EBITDAは2,441百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は1,491百万円（前年同期比9.0%増）、経常利益は1,443百万円（前年同期比9.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は721百万円（前年同期比5.5%増）を予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を考慮し、日本基準を適用して連結財務諸表等を作成しております。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、今後の海外事業の状況や国内外の諸情勢を踏まえ、随時検討してまいります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,118,725	5,293,996
受取手形	26,372	14,660
売掛金	3,266,083	3,139,921
商品及び製品	63,594	50,477
貯蔵品	459	323
前渡金	30,451	38,832
前払費用	74,842	81,205
未収入金	6,370	8,869
未収消費税等	—	4,772
その他	912	340
貸倒引当金	△7,907	△9,601
流動資産合計	8,579,904	8,623,798
固定資産		
有形固定資産		
建物	14,662	22,585
建物附属設備	75,258	91,934
工具、器具及び備品	156,125	176,525
減価償却累計額	△181,863	△158,470
減損損失累計額	△1,602	△1,591
有形固定資産合計	62,580	130,982
無形固定資産		
のれん	7,737,721	7,147,072
ソフトウェア	91,852	93,161
コンテンツ資産	218,740	219,080
ソフトウェア仮勘定	7,500	197
コンテンツ資産仮勘定	6,013	5,680
出版権	275,333	118,000
その他	1,032	1,032
無形固定資産合計	8,338,195	7,584,225
投資その他の資産		
敷金及び保証金	174,439	129,666
繰延税金資産	120,780	69,416
その他	18,680	18,671
投資その他の資産合計	313,899	217,755
固定資産合計	8,714,675	7,932,963
資産合計	17,294,580	16,556,762



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,228,859	3,089,881
短期借入金	2,000,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,020,000	1,020,000
未払金	228,061	277,558
未払費用	42,944	75,282
未払法人税等	285,461	291,223
未払消費税等	139,947	31,983
契約負債	568,950	556,739
返金負債	299,948	191,287
預り金	55,357	48,555
その他	153,513	145,526
流動負債合計	8,023,044	7,728,039
固定負債		
長期借入金	1,785,000	765,000
固定負債合計	1,785,000	765,000
負債合計	9,808,044	8,493,039
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,906,359	1,910,859
資本剰余金	1,905,859	1,910,491
利益剰余金	4,712,788	5,268,416
自己株式	△1,043,514	△1,039,647
株主資本合計	7,481,492	8,050,119
新株予約権	5,043	13,603
純資産合計	7,486,535	8,063,722
負債純資産合計	17,294,580	16,556,762



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高	18,446,924	16,720,153
売上原価	12,106,072	11,012,906
売上総利益	6,340,851	5,707,246
販売費及び一般管理費	4,553,949	4,338,852
営業利益	1,786,902	1,368,394
営業外収益		
受取利息	325	3,749
受取配当金	127	107
受取返戻金	1,892	—
助成金収入	600	—
事業譲渡益	963	10,000
還付金収入	—	1,167
その他	208	525
営業外収益合計	4,117	15,549
営業外費用		
支払利息	50,685	59,132
融資手数料	2,880	2,875
消費税等調整額	5,510	57
その他	5,933	2,288
営業外費用合計	65,010	64,354
経常利益	1,726,009	1,319,589
特別損失		
固定資産除却損	—	13,080
事務所移転費用	—	20,560
特別損失合計	—	33,640
税金等調整前当期純利益	1,726,009	1,285,949
法人税、住民税及び事業税	579,853	550,903
法人税等調整額	△157,369	51,363
法人税等合計	422,483	602,266
当期純利益	1,303,525	683,683
親会社株主に帰属する当期純利益	1,303,525	683,683

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)		
	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
当期純利益	1,303,525	683,683
包括利益	1,303,525	683,683
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,303,525	683,683

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,901,359	1,900,859	3,501,267	△350,242	6,953,242
当期変動額					
新株の発行	5,000	5,000			10,000
剰余金の配当			△90,439		△90,439
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,303,525		1,303,525
自己株式の取得				△700,036	△700,036
自己株式の処分		—	△1,565	6,764	5,199
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	5,000	5,000	1,211,521	△693,271	528,249
当期末残高	1,906,359	1,905,859	4,712,788	△1,043,514	7,481,492

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	—	6,953,242
当期変動額		
新株の発行		10,000
剰余金の配当		△90,439
親会社株主に帰属する 当期純利益		1,303,525
自己株式の取得		△700,036
自己株式の処分		5,199
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	5,043	5,043
当期変動額合計	5,043	533,293
当期末残高	5,043	7,486,535

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,906,359	1,905,859	4,712,788	△1,043,514	7,481,492
当期変動額					
新株の発行	4,500	4,500			9,000
剰余金の配当			△128,055		△128,055
親会社株主に帰属する 当期純利益			683,683		683,683
自己株式の取得				—	—
自己株式の処分		132	—	3,866	3,999
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	4,500	4,632	555,627	3,866	568,627
当期末残高	1,910,859	1,910,491	5,268,416	△1,039,647	8,050,119

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	5,043	7,486,535
当期変動額		
新株の発行		9,000
剰余金の配当		△128,055
親会社株主に帰属する 当期純利益		683,683
自己株式の取得		—
自己株式の処分		3,999
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	8,559	8,559
当期変動額合計	8,559	577,187
当期末残高	13,603	8,063,722

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,726,009	1,285,949
減価償却費	395,965	358,726
のれん償却額	590,649	590,649
支払利息	50,685	59,132
融資手数料	2,880	2,875
売上債権の増減額 (△は増加)	739,838	137,874
仕入債務の増減額 (△は減少)	△208,160	△138,977
未払金の増減額 (△は減少)	△166,208	44,840
契約負債の増減額 (△は減少)	△23,812	△12,211
返金負債の増減額 (△は減少)	△66,365	△108,661
未払又は未収消費税等の増減額	112,619	△112,736
その他	△44,326	29,977
小計	3,109,777	2,137,438
利息及び配当金の受取額	452	3,856
利息の支払額	△50,890	△59,321
法人税等の支払額	△717,829	△542,576
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,341,510	1,539,397
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△18,311	△102,646
無形固定資産の取得による支出	△161,028	△169,585
敷金及び保証金の差入による支出	△65,946	—
敷金及び保証金の返還による収入	—	49,925
その他	285	109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△245,001	△222,198
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△1,020,000	△1,020,000
融資手数料の支払による支出	△2,880	△2,875
株式の発行による収入	10,000	9,000
自己株式の取得による支出	△700,036	—
配当金の支払額	△90,364	△128,052
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,803,281	△1,141,927
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	293,227	175,271
現金及び現金同等物の期首残高	4,825,497	5,118,725
現金及び現金同等物の期末残高	5,118,725	5,293,996

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

資産除去債務の見積りの変更

当連結会計年度において、不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、退去時に必要とされる原状回復費用に関する新たな情報の入手に伴い、見積りの変更を行いました。これにより14,347千円を変更前の資産除去債務残高に加算したうえで、当連結会計年度において原状回復義務を履行しました。

なお、この見積りの変更により、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益がそれぞれ14,347千円減少しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社グループのうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社は、事業種類別のセグメントから構成されており、「プラットフォームセグメント」及び「コンテンツセグメント」を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「プラットフォームセグメント」は、当社の既存事業であるまんが王国を中心としたユーザー課金ビジネス及びその付帯ビジネス等で構成されております。

「コンテンツセグメント」は、当社の子会社であるぶんか社グループの既存事業を中心とした電子書籍、出版及びそれらの付帯ビジネス等で構成されております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価額に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	プラットフォーム セグメント	コンテンツ セグメント	計		
売上高					
自社配信	11,077,719	—	11,077,719	—	11,077,719
他社配信	350,063	4,772,748	5,122,812	—	5,122,812
紙出版	—	1,413,088	1,413,088	—	1,413,088
その他	369,894	463,409	833,304	—	833,304
顧客との契約から生じる収益	11,797,677	6,649,246	18,446,924	—	18,446,924
外部顧客への売上高	11,797,677	6,649,246	18,446,924	—	18,446,924
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,188	174,170	176,358	△176,358	—
計	11,799,865	6,823,417	18,623,283	△176,358	18,446,924
セグメント利益	632,749	1,153,312	1,786,061	840	1,786,902
セグメント資産	6,770,495	11,048,853	17,819,349	△524,769	17,294,580
その他の項目					
減価償却費	214,524	181,645	396,170	△204	395,965
のれん償却額	243,897	346,752	590,649	—	590,649
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	293,904	21,318	315,223	—	315,223

(注) 1. セグメント利益の調整額840千円は、全社費用及びセグメント間取引相殺消去額であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。



当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	プラットフォーム セグメント	コンテンツ セグメント	計		
売上高					
自社配信	9,910,772	—	9,910,772	—	9,910,772
他社配信	394,482	4,741,410	5,135,892	—	5,135,892
紙出版	—	1,017,195	1,017,195	—	1,017,195
その他	266,973	389,318	656,291	—	656,291
顧客との契約から生じる収益	10,572,229	6,147,924	16,720,153	—	16,720,153
外部顧客への売上高	10,572,229	6,147,924	16,720,153	—	16,720,153
セグメント間の内部売上高 又は振替高	54,600	230,396	284,996	△284,996	—
計	10,626,829	6,378,320	17,005,149	△284,996	16,720,153
セグメント利益	432,385	935,817	1,368,203	191	1,368,394
セグメント資産	6,220,988	10,371,980	16,592,969	△36,206	16,556,762
その他の項目					
減価償却費	183,594	175,322	358,917	△191	358,726
のれん償却額	243,897	346,752	590,649	—	590,649
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	418,246	30,722	448,969	—	448,969

(注) 1. セグメント利益の調整額191千円は、全社費用及びセグメント間取引相殺消去額であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり純資産額	1,343.75円	1,440.53円
1株当たり当期純利益	220.02円	122.37円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	219.21円	122.08円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,303,525	683,683
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,303,525	683,683
普通株式の期中平均株式数(株)	5,924,701	5,586,817
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	21,894	13,549
(うち新株予約権(株))	(21,894)	(13,549)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権1種類(新株予約権の数780個)。	新株予約権1種類(新株予約権の数160個)。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。